

# SocketTrans Ver1.05

## ヘルプファイル 目次

ソフトの使用でのご注意点

ソフトの概要

動作環境

インストールの方法

アンインストールの方法

ファイルの構成

ソフトウェア使用許諾契約

ソフトの名前について

ファイル転送の操作方法

ステータスバー

メニューバーの説明

ファイル

自分側：再フォルダ指定

自分側：ルートフォルダ指定

相手側：再フォルダ指定

相手側：ルートフォルダ指定

接続

接続設定

接続開始

接続終了

受信内容

送信内容

DIR-TBL

その他

環境設定

ドキュメント

バージョン情報

BitDeviserホームページ

終了

ファイアウォールについて

バージョンについて

ご意見など連絡先

## ソフトの使用でのご注意点

### 【ソフトの使用でのご注意点】

このソフトを起動した時点で上記を同意したとします。  
同意されない方は、このソフトやダウンロードした内容を削除して下さい。

ご使用の前に、必ずこのページをお読みください。

このソフトは、企業ではなく個人で作成した物です。  
個人で使用していましたが、期間限定で公開します。  
動作保証はありません。問題が発生しても責任は一切持ちません。  
ご利用は自己判断で決めて下さい。

### 使用条件及び免責について

御使用されるための契約として

本プログラムの使用にあたっては、使用者自身の責任の下に行ってください。

作者は何の保証もしませんし、本プログラムを使用したことによって生じた損害を補償する義務も負いません。

このソフトウェアを使用して個人または団体が直接あるいは、間接的な損害を受けたとしても作者は一切の責任を負いません。

このソフトを起動した時点で上記を同意したとします。  
同意されない方は、このソフトやダウンロードした内容を削除して下さい。

## ソフトの概要

「SocketTrans」は、LAN（ローカルエリアネットワーク）通信を利用し、2台のパソコンを接続してお互いのパソコン内のファイル参照、また、そのファイルをコピーするソフトです。

### このソフトの概略説明

LAN（ローカルエリアネットワーク）で2台のパソコンで片側をサーバでオープン、もう片側をクライアントでオープンします。（サーバ側を先にオープンが必要）

接続が成功したら、お互いのファイルやフォルダがリスト上に表示します。

ファイルを選んでコピーが出来ます。（フォルダ単位のコピーは不可）

相手先のフォルダの作成も可能です。

相手先のファイルを消す機能は持っていません。

ネットワークの環境はローカルエリアのみです。

### \*御使用されるための契約として

本ソフトはフリーソフトです。

本プログラムの使用にあたっては、**使用者自身の責任の下に行ってください。**

**作者は何の保証もしませんし、本プログラムを使用したことによって生じた損害を補償する義務も負いません。**

## 動作環境

- 1・マシーンはWindowsパソコンを使用する事
- 2・OSは下記のWindowsである事  
Windows10の32bitOS及び64bitOS（EXEは32bitで構築した物）
- 3・記憶媒体に空きがある事

## インストールの方法

インストールはありません、解凍して実行ファイルを起動するだけです。

### 一般的は作業内容

- 1・管理しやすいところで新規にフォルダを作成する
- 2・そのフォルダ内に解凍  
解凍ソフトは各自で準備する事。（Zipで圧縮しています）
- 3・ショートカットの作成  
使いやすい場所にショートカットを作ってデスクトップなどに置いてください。

## アンインストールの方法

アンインストールもありません、実行ファイルや設定ファイルを削除するだけです。

### 一般的は作業内容

- 1・インストールで作成したにフォルダを削除する
- 2・フォルダ以外に設定ファイルを保存しているのなら、それも削除する
- 3・インストール時に作成したショートカットを削除する

## ファイルの構成

SocketTrans.exe	実行ファイル
SocketTrans.ini	設定ファイル
SocketTrans_Manual.pdf	マニュアル
SocketTrans_ドキュメント.txt	ドキュメント

## ソフトウェア使用許諾契約

### 1・ライセンス

- 1) このソフトはフリーソフトとして公開しています。ご自由にご利用ください。

### 2・免責

- 1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、使用者自身の責任の下に行ってください。作者は何の保証もしません。
- 2) 本ソフトウェアを使用したことによって生じた損害を補償する義務も負いません。
- 3) このソフトウェアを使用して個人または団体が直接あるいは間接的な損害を受けたとしても作者には一切の責任を負いません。
- 4) 本ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用又は利用した結果、ハードウェア又はデータに支障が生じた場合等、本ソフトウェアに起因し又は関連して損害が発生した場合であっても、作者は一切責任を負いません。本ソフトウェアを複製し、組み込み又は改変したソフトウェア及びこれらを使用又は利用して作成されたソフトウェアについても同様とします。

### 3・対象ソフトウェア

- 1) 対象となるソフトウェアは、このダウンロードしたソフトウェアです。

### 4・権利

- 1) 本ソフトウェア及びマニュアルやドキュメントの著作権はBitDeviserにあります。

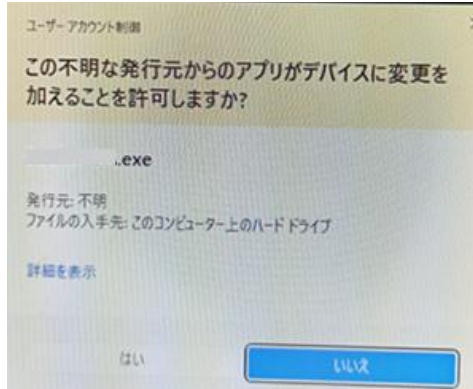
### 5・禁止事項

- 1) 本ソフトウェアの使用権を第三者に貸与、譲渡、リース、レンタル、サブライセンスすること。
- 2) 本ソフトウェアを改変したものをネットワーク上で配信すること。
- 3) 本作者名を名乗り勝手に配信やサービスを行うこと。
- 4) 無許可で他ネットへの転載、再配布、雑誌のCD-ROM 等への収録に関しては禁止します。

## アプリの起動について

SocketTrans.exeで起動すると管理者権限で起動します。

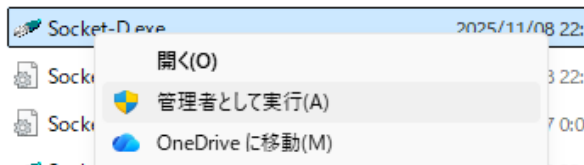
管理者権限で起動すると下記の画面が出るので「はい」をクリックします。



なぜ、管理者権限で起動が必要か

ネットワークの構成によって管理者権限で起動しないと動作しないときがあります。それで管理者権限で起動するアプリも入れました。

他のアプリでも右クリックして管理者として実行も同じことになります。



## ソフトの名前について

「**SocketTrans**」という名について

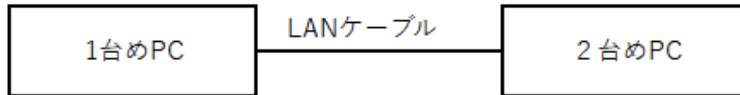
これは、WinSocketを使用して作成した物でそのSocketを取っています。

Transは転送という事にしています。

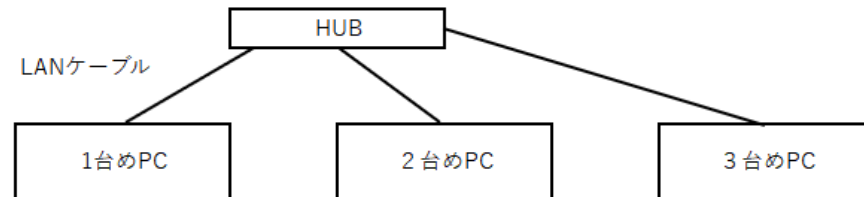
「SocketTrans」は、**LAN通信(ソケット通信)通信でファイル転送するソフトです。**

## 2台PCの接続方法

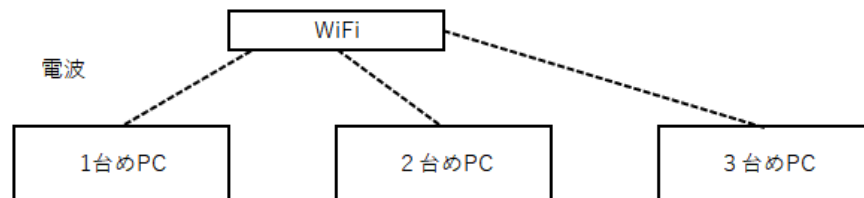
### 1・ケーブルなどの接続方法



2台のPCで直接LANケーブルで接続する（今のPCはストレートケーブルでOK）  
この場合はIPアドレスを192.168.\*\*\*.\*\*\*に設定して下さい。



複数のネットワーク環境に接続する場合は管理者権限で起動する必要がある場合があります。  
2台しか接続が出来ないので3台めは接続出来ません。



複数のネットワーク環境に接続する場合は管理者権限で起動する必要がある場合があります。  
2台しか接続が出来ないので3台めは接続出来ません。

### 2・接続2台のPCはSocketTrans.exeを起動します。

### 3・接続する1台目のPCは、「サーバ側」に設定する。

メニューの接続の接続設定で下記の画面表示

接続設定

サーバ・クライアントの選択

☐ クライアント側 ☒ サーバ側

接続先

☐ IPアドレス

192 168 1 6

☒ PC名

PC1

PC2

PC3

アダプタIP変更

アダプター一覧

PORT番号

1052

OK

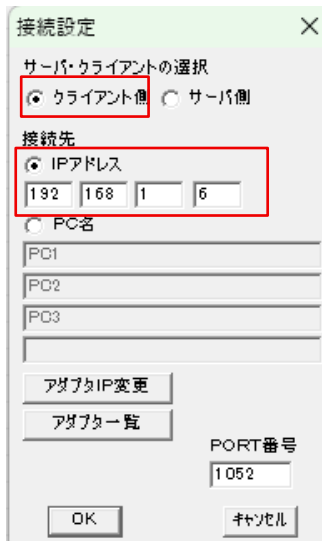
キャンセル

サーバ側をONにする

ポート番号は空いている番号を指定する  
1050以上  
1024以下はOSが使用しているので使用禁止

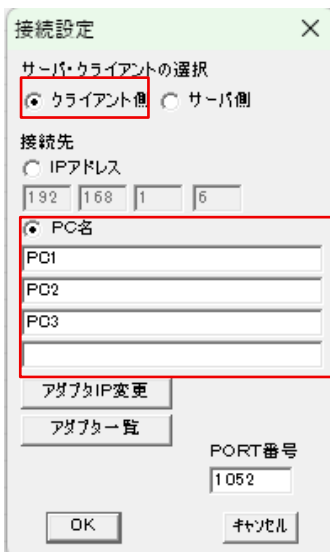
サーバ側（受け側）になるので  
IPアドレスは設定しません。

- 4・接続する2台目のPCは、「クライアント側」に設定する。  
メニューの接続の接続設定で下記の画面表示



クライアント側をONにする

IPアドレスは1台目（サーバ側）のIPアドレスに合わせる  
2台を直接LANで接続する時は  
IPアドレスの先頭を192、その次を168にすると  
接続出来ます。



IPアドレスが自動になっている場合は  
IPアドレスがネットワークの環境で変わります。  
PC名で接続するのをお勧めします。

PC名は4台分を登録します。  
上から順番に探します  
接続可能であれば接続します。

## 5・LANアダプタのIPアドレスの変更の仕方

接続設定

サーバ・クライアントの選択

☒ クライアント側 ☐ サーバ側

接続先

☐ IPアドレス

192 168 1 6

☒ PC名

PC1

PC2

PC3

**アダプタIP変更**

アダプター一覧

PORT番号

1052

OK キャンセル

IP Address Setting

IP address Change

イーサネット-2 [192.168.1.6] net

Change Add IP Delete Cancel

管理者権限の操作

☐ IDとPWをクライアントに記憶する

ID(PW time) 5000 ID(ID)

PW(PW time) 5000 PW(PW)

あらかじめ登録したUPアドレスを  
バッチファイルにて変更します。  
詳細な使い方は  
IPA\_Changeを参照

リストを選択して  
Changeのボタンで変更します

LANアダプタの一覧も「アダプター一覧」のボタンを押すと下記のようにになります。



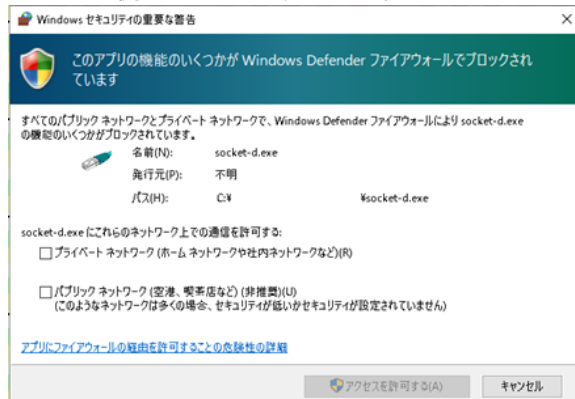
6・2台のPCを接続する。

サーバ側のPCを先にメニューの接続の接続開始をクリックする

その次にクライアント側を接続する（必ず先にサーバ側を接続開始する）



サーバ側でオープンすると下記のメッセージが初回のみ出ます。



「プライベート ネットワーク」にチェックを入れてアクセル許可して下さい。

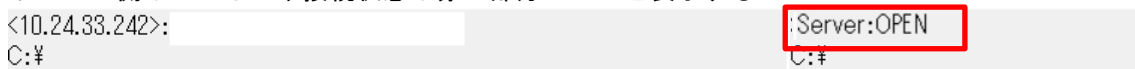
許可しなかったら動作しません。

一回目の起動のみこのメッセージが出来ます。二回目以降は出ません

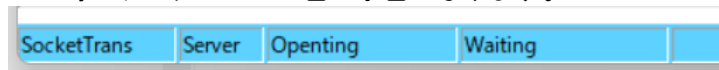
後から許可・禁止にする場合は、ファイアウォールの詳細設定でSocketTrans.exeの受信規制を許可・禁止に設定して下さい。

2台とも接続が成功すると下記のようなになる

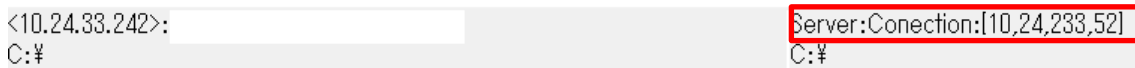
サーバ側はOPENして未接続状態は赤の部分がOPENと表示する



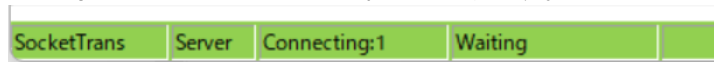
この時ステータスバーの色が水色になります。



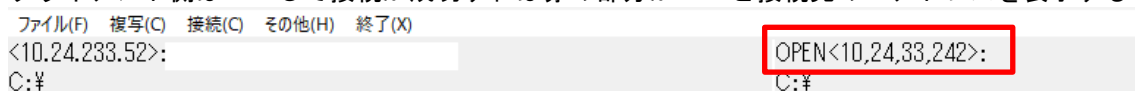
サーバ側はOPENして接続完了すると赤の部分が接続先のIPアドレスを表示する



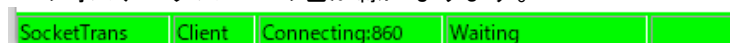
この時ステータスバーの色が草色になります。



クライアント側はOPENして接続が成功すれば赤の部分がOPENと接続先のIPアドレスを表示する

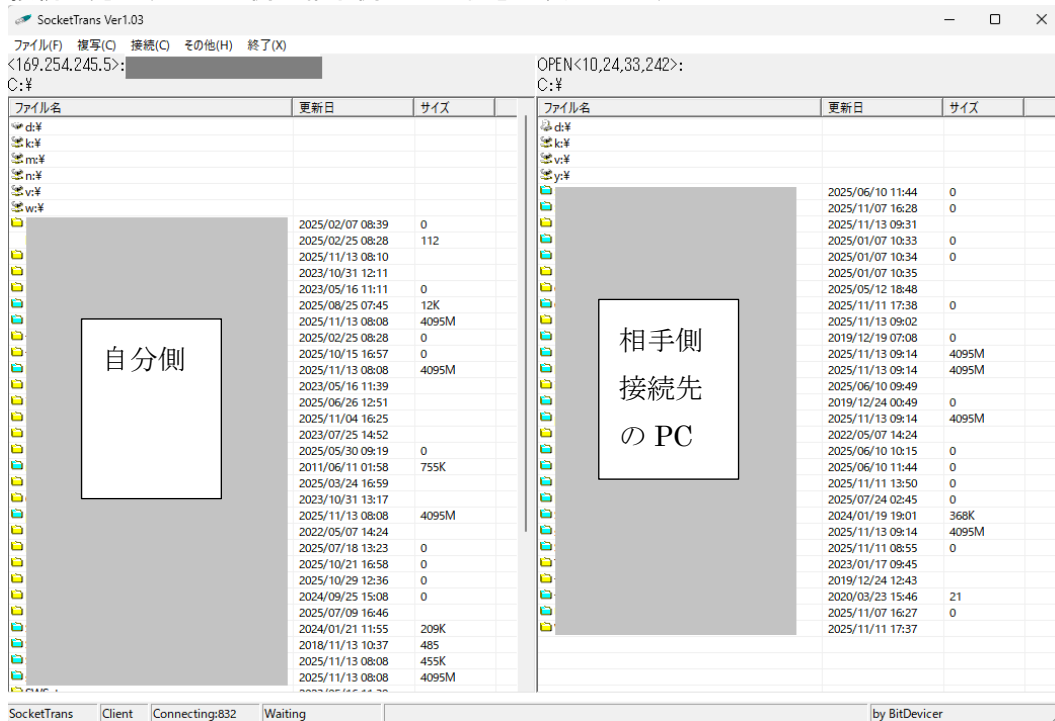


この時ステータスバーの色が緑になります。



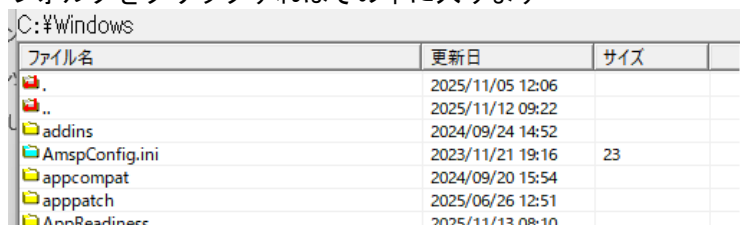
## 2台PCのフォルダやファイル表示

接続が完了すると右側に相手側のPCの状態が表示します



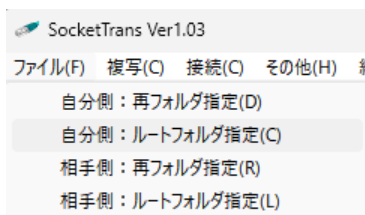
左側が自分PCで右側が相手側のPCのフォルダとファイルを表示しています。

さらにフォルダは黄色でファイルは水色のアイコンが表示します。  
フォルダをクリックすればその中に入ります



のアイコンをクリックすると一個前のフォルダに戻ります

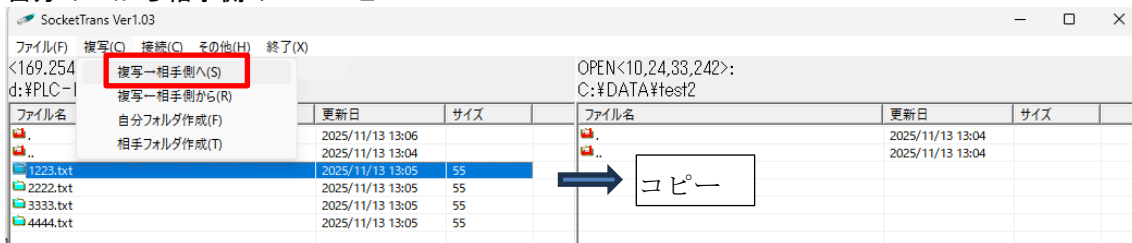
ファイル名のカラムをクリックするとファイル名でソートします。  
更新日のカラムをクリックすると更新日でソートします。  
下記のメニューバーの操作で再表示が可能です。



画面になにも表示されない場合このメニュー操作が必要です  
アプリが終了時の現在のパスを記憶しています。  
再立ち上げ時そのパスを再現しますが、環境が変わった時、  
画面にファイル名などが表示しない時があるので  
このメニュー操作が必要です  
パスが違う場合はルートフォルダ指定にすればよいです

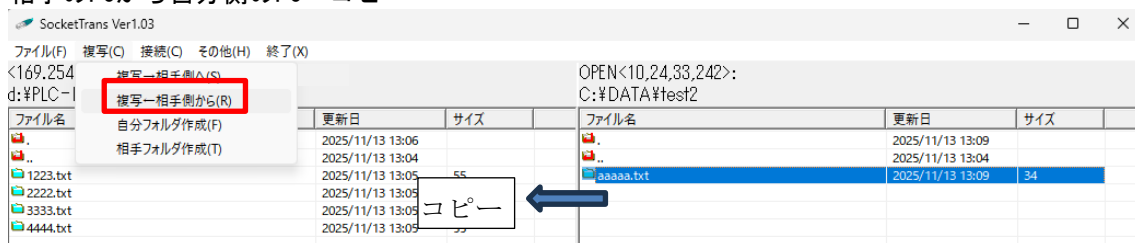
## 2台PCでファイルの転送

自分のPCから相手側のPCへコピー



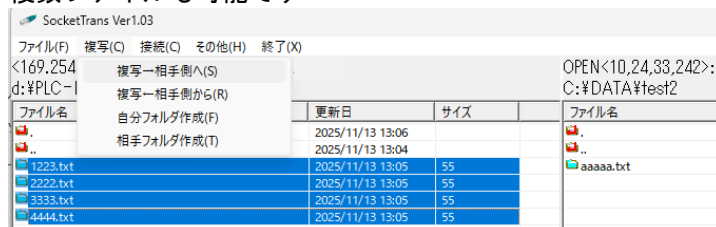
転送したいファイルを選択して、メニューの複写→相手側へをクリックすれば自分のファイルを相手側へコピーします。

相手のPCから自分側のPCへコピー



転送したいファイルを選択して、メニューの複写←相手側からをクリックすれば相手側のファイルを自分側へコピーします。

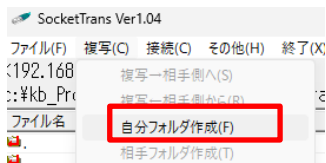
複数ファイルも可能です



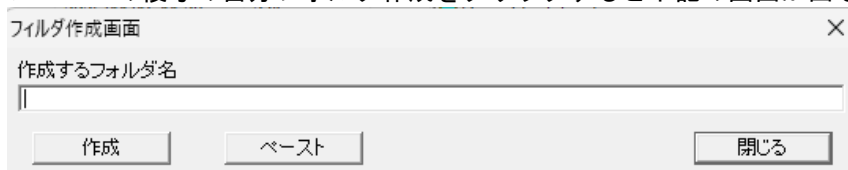
実際にコピーする先は下記の画面が出るので開始のボタンを押す

## フォルダの作成

### 自分側のPCのフォルダ作成

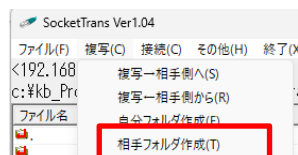


メニューの複写の自分フォルダ作成をクリックすると下記の画面が出る

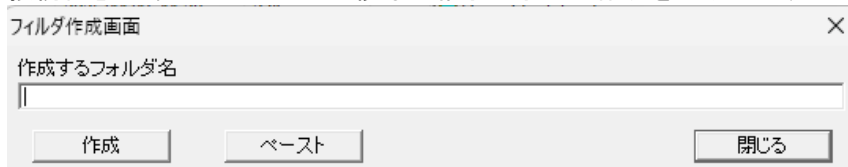


フォルダ名を入力して作成のボタンを押す

### 相手側のPCのフォルダ作成



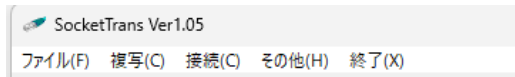
接続状態であればメニューの複写の相手フォルダ作成をクリックすると下記の画面が出る



フォルダ名を入力して作成のボタンを押す

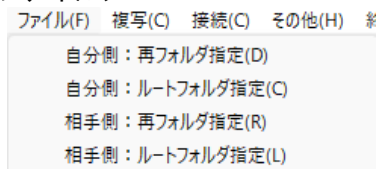
## メニューバーの説明

### <メニューバー>



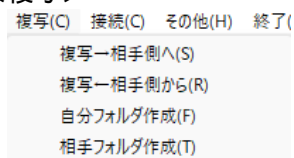
メニューは「ファイル」・「複写」・「接続」・「その他」・「終了」があります。

### <ファイル>



ファイルの中には「自分：再フォルダ指定」・「自分：ルートフォルダ指定」・「相手：再フォルダ指定」・「相手：ルートフォルダ指定」があります。

### <複写>



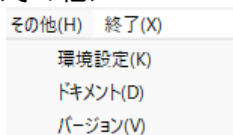
複写の中には「複写→相手側へ」・「複写←相手側から」・「自分フォルダ作成」・「相手フォルダ作成」があります。

### <接続>



接続の中には「接続設定」・「接続開始」・「接続終了」・「HostName」・「受信内容」・「送信内容」・「DIR—TBL」があります。

### <その他>



その他の中には「環境設定」・「ドキュメント」・「バージョン」があります。

## <ファイル>

### 自分：再フォルダ指定

自分のPC内で指定してパスのフォルダを再表示します。  
メイン画面の左側のリストの上部にパスが表示しています。  
そのパスでフォルダとファイルを再リスト表示します。

### 自分：ルートフォルダ指定

自分のPC内でルートのパス（C¥:）のフォルダを再表示します。  
メイン画面の左側のリストの上部にパスが表示しています。  
ルートのパス（C¥:）でフォルダとファイルを再リスト表示します。

### 相手：再フォルダ指定

相手側のPC内で指定してパスのフォルダを再表示します。  
メイン画面の右側のリストの上部にパスが表示しています。  
そのパスでフォルダとファイルを再リスト表示します。

### 相手：ルートフォルダ指定

相手側のPC内でルートのパス（C¥:）のフォルダを再表示します。  
メイン画面の右側のリストの上部にパスが表示しています。  
ルートのパス（C¥:）でフォルダとファイルを再リスト表示します。

## <複写>

### 複写→相手側へ

左側のリストでファイルを選んでこれをクリックすると相手側へファイルの複写を実行します。  
フォルダ単位の複写は出来ません。  
ファイルは複数選択可能です。  
複写が完了すると右側のリストが再表示します。

### 複写←相手側から

右側のリストでファイルを選んでこれをクリックすると自分にファイルの複写を実行します。  
フォルダ単位の複写は出来ません。  
ファイルは複数選択可能です。  
複写が完了すると左側のリストが再表示します。

### 自分フォルダ作成

メイン画面の左側のリストの上部にパスに新たなフォルダを作成します。



こんな画面が出てフォルダ名を入れて「作成」のボタンを押すと作成します。

### 相手フォルダ作成

メイン画面の右側のリストの上部にパスに新たなフォルダを作成します。



こんな画面が出てフォルダ名を入れて「作成」のボタンを押すと作成します。

## <接続> 接続設定

下記の画面が表示され接続設定を行います。

- 1・クライアント側とサーバ側の設定  
2台のPCで必ず1個はクライアント側で  
もう片側はサーバ側に設定します。  
両方とも同じ設定はNGです。
- 2・接続先の設定はIPアドレスで指定するのかPC名で指定するか  
選択します。
- 3・IPアドレスを指定する場合は8ビットの数値4個を指定します。
- 4・PC名を指定する場合は下のEdit boxにPC名を入力します。  
最大4個まで登録出来ます。  
上から接続し接続がなければその下を接続します。  
接続した時点で接続完了です。

- 5・自分のPCのLANアダプタのIPアドレスを変える場合「アダプタIP変更」のボタンを押す
- 6・自分のPCのLANアダプタの一覧を表示するとき「アダプター一覧」のボタンを押す

## 接続開始

これをクリックすると接続を開始します。

## 接続終了

これをクリックすると接続を終了します。

## HostName

これをクリックすると下記の画面が表示します。

自分のPCのIPアドレスとPC名が表示します。

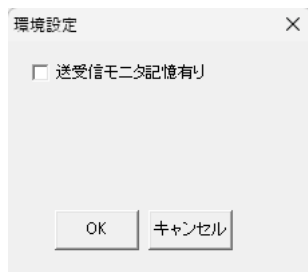
## 受信内容・送信内容・DIR-TBL

デバック時に作成したものです  
不要です

## <その他>

### 環境設定

下記の画面が表示され接続設定を行います。



デバック時に問題時に作ったものだけど忘れた。（10年前のソースなので）

### ドキュメント

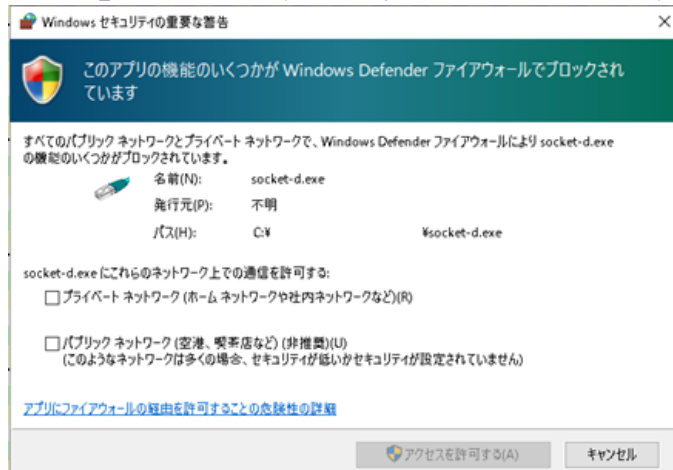
取説のPDFファイルを表示します。

### バージョン

このアプリのバージョン情報を表示します。

### ファイアウォールについて

モードをServerでOPENすると下記のメッセージが出ます。



ServerでOPENするってことは、どんなIPアドレスからもアクセス可能を許可しなければなりませんのでOSからこのようなメッセージが出ます。

別の例で言うとアプリをインストールするときに出る警告メッセージとおなじような物です。「プライベート ネットワークにチェック」を入れてアクセル許可にするとローカルネットワーク上でServerモードにて送受信が可能になります。

もしも、キャンセルしてやっぱり許可にしたい場合はコントロールパネルのシステムとセキュリティのWindows Defender ファイアウォールの詳細設定で受信規制と送信規制でSocket-D. exeを許可にしてください。



## バージョンについて

Ver1.00 2018-4-15

Ver1.01 2018-4-29

Ver1.02 20??

Ver1.03 20??

Ver1.04 20??

Ver1.05 2026-1-11 初公開

改善 1 : 立ち上げたら接続するようにした。

改善 2 : 接続方法を IP アドレス以外に PC 名で接続可能にした。

## ご意見など連絡先

そのソフトに関するご意見、ご感想、ご要望は下記のメールアドレスでご連絡するようにお願いします。

The email address 'bitdeviser@yahoo.co.jp' is displayed in a large, bold, black font. The text is overlaid on a rectangular background filled with a dense, colorful pattern of small, multi-colored dots in shades of red, green, blue, and yellow.